



すけろく田のえどざくら
野原権十部

河原権十部
相伝とあり

七夜霞をるやいつと笑ひて
 うらり多や初花よあらく土手を
 國の名乃豊声茶や吉原子根
 自ふ夕な能風よつ鐘の上野の
 雨のちち地人の呼子をいれ
 中の町ややかの海よあを思ひ
 ちちよまひのれそそ進とい
 花乃花は花を先たるよとそ
 よ付がさる供がうらや待合
 雨のそ花痛乃さえゆるこの
 けうりのまぢち世せうささ
 らで先きを末の松乃髪先
 同當の柳花乃雪傘は法り山
 草さきり音とぬ金鼻流花と
 せきやるまうた世車先お各
 おとらまも果いとせり花あ
 なるみりな君申し志んぞい
 助六のまけりりふをいあり

